

## 村内事業所で2日間の職場体験 学園8年生がさまざまな職業に挑戦しました

8月24日・25日の2日間、いたて希望の里学園の8年生による『職場体験』が村内事業所で実施されました。

右の写真の他、桜の名所「飯館復興の桜」で會田征男さん(伊丹沢)から桜の管理を教わった生徒や、いたてスポーツ公園でイベントのポスター制作を体験した生徒もいます。それぞれの職場で真剣に仕事に取り組み、働く喜びや苦勞、やりがいなどを実感していました。



①肉のゆーとぴあ②コーヒー屋の食堂③工房マートルなどでさまざまな仕事に向き合いました。

## 全力を尽くし健闘を讃え合う 川俣町・飯館村 陸上交歓会

9月20日、『第5回川俣町・飯館村小学生陸上交歓会』が、いたてスポーツ公園陸上競技場で開催されました。川俣小学校といたて希望の里学園の5・6年生が参加して、短距離走・中距離走・走り幅跳びなどの競技に力いっぱい取り組みました。この大会は、練習の成果を発揮して他校と競い合い、その中で自己記録の更新にも挑める貴重な機会となっています。自校の応援はもとより、互いの健闘を讃え合う児童の姿も印象的でした。



最後の種目は男女混合チームの4×100mリレー。仲間や保護者の声援を受け、力走する第1走者。

## 北海道での学びを自分達の言葉で 『学びの旅』の報告会を開催

9月24日、交流センター「ふれ愛館」で、『いきいきわくわく学びの旅』の報告会が行われました。学びの旅は、この夏8月7日から10日にかけて実施され、いたて希望の里学園の5・6年生の希望者14人が参加。北海道からふるさとを見つめ、体験を通して北海道の自然や歴史などを学びました。菅野義樹さん(比叡)の営む「菅野牧園」で学んだ震災と畜産のこと、同世代との交流、農業学習施設で触れた最先端の農業などについて、実感を込めて報告しました。



7つのテーマで班ごとに発表。スライドを使って、旅で学んだこと、感じたことをいきいきと伝えました。

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

令和5年4月に全国学力・学習状況調査が行われました。この調査の目的は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の教育活動に役立てていくことです。毎年実施している2教科(国語と算数・数学)の試験及び質問紙調査(学習・生活状況に関する質問)に加え、今年度は中学校では英語の試験も実施しました。飯館村教育委員会では、調査結果から子どもたちの良さや課題を把握し、継続的な検証改善サイクルを確立しながら確かな学力を育むことをめざしています。

福島県の傾向

- 小・中学校国語がおおむね全国平均となっている。一方で小学校算数と中学校数学及び英語は全国平均を下回っている。
- 質問紙調査から「主体的な学び」「対話的な学び」の視点による活動は全国平均を上回っている。
- 全国平均に比べてICT機器を効果的に活用した協働的な学びの推進に課題がある。

### 飯館村の結果から

- 教科ごとの正答率は村の結果も概ね福島県の傾向と同様である。
- 授業におけるICT機器の活用頻度は、全国や県平均に比べて極めて高い。

#### ① 各教科について

学年		良くできているところ	課題となっているところ
6年生	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字を文の中で正しく使う。</li> <li>目的や意図に応じて自分の考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図表やグラフを用いて自分の考えが伝わるように工夫する。</li> <li>情報同士を関連付けながら説明する。</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>分配法則を用いた加法と乗法。</li> <li>除算の筆算の仕組みを説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の意味や性質を理解する。</li> <li>問題文を読んで場面と関連付けながら式をつくる。</li> </ul>

学年		良くできているところ	課題となっているところ
9年生(中学3年生)	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文と文との関係について理解して読む。</li> <li>文章から要旨を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観点を明確にして文章を比較する。</li> <li>文章の内容と自分の知識や経験とを結びつけながら考えをまとめる。</li> </ul>
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフなどの事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を考える。</li> <li>図形の特徴から証明を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて式を変形する。</li> <li>表やグラフから必要な情報を適切に読み取る。</li> </ul>
	英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>事実と考えを区別して読む。</li> <li>英文の要点を捉えて短文を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を正確に聞き取る。</li> <li>まとまりのある文章を書く。</li> </ul>

#### ② 各教科の結果と質問紙調査との関連を分析して、正答率の高い傾向にある児童生徒

生活に関わること	学習に関わること
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 朝食を毎日食べている。</li> <li>◎ 家に本がたくさんあり、読書が好きである。</li> <li>◎ 友人関係に満足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。</li> <li>◎ 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている。</li> <li>◎ 家で自分で計画を立てて勉強している。</li> </ul>

学力向上に向けた今後の取り組み

学校では

- 教師の児童生徒一人ひとりに対する指導が、各教科を好きになったり大事だと思ったりする気持ちにつながっています。今後も継続します。
- ICT機器を積極的に活用し、協働的な学びや思考力・判断力・表現力の向上に役立っています。引き続き活用する一方で、書く活動とのバランスも考慮していきます。
- 知識や技能を身につけるために、繰り返しの学習など基礎基本の定着を目指した指導を行います。



ご家庭では

- 毎日の生活リズム(起床、就寝、食事の時間)を守らせましょう。
- ゲームやスマートフォンの使い方を親子で決めましょう。読書の習慣をつけさせましょう。
- 家庭学習を習慣化させるために、下校後の計画を立てさせましょう。